

SJ

The Safety Japan  
since 1971

Close Up

クローズアップ Honda の活動

公道走行に不安のあるライダーへ  
不安解消のサポートとなる機会を

(株)ホンダモーターサイクルジャパン(以下、HMJ)は今年5月よりHondaGO(二輪市場活性化プロジェクト)の新コンテンツ「HondaGO BIKE LESSON」をスタート。新たに二輪免許を取得したライダーやリターンライダーの公道走行に対する不安を解消するためのモーターサイクリストスクールで、全国にある4つの交通教育センター※を皮切りに開始。対象となる方々の不安の声を基にしたカリキュラムや実際に受講された皆様の声を紹介する。

※公道走行は交通教育センターレインボー埼玉でのみ実施

公道への最初の一步を  
サポートするために

二輪免許教習において、四輪のような公道での路上教習は行われない。そのため、免許取得後に一人で公道を走ることには不安を感じるライダーも少なくない。HMJがライダーを対象に行った安全運転に関するアンケート調査で、10～20代は「立ちゴケしないか不安」「あおり運転に遭わないか心配」「発進や走り始めに不安がある」と回答している。そうしたライダーの不安と向き合い、少しでも安全・安心に走っていただきたいという思いからスタートしたのが「HondaGO BIKE LESSON(以下、レッスン)」である。

Hondaでは1978年からライダー向けにHondaモーターサイクリストスクール(HMS)を現在、全国5カ所の交通教育センターで定期的実施しているが、今回のレッスンは対象者の声を尊重し、不安払拭を徹底してサポートするという位置づけで、公道への最初の一步をサポートするためのものである。公道を走行することへの不安を払拭することに加え、受講者同士が仲間をつくれる環境を提供することを目的としている。



「HondaGO BIKE LESSON」での公道走行(交通教育センターレインボー埼玉でのみ実施)。  
受講者たちがセンターの敷地内コースで身につけたことを公道で実践する

抱える不安の元となる苦手意識に  
焦点を当てたカリキュラム

5月27日、交通教育センターレインボー埼玉(以下、レインボー埼玉)でレッスンが開催され、19名が受講した。開講式を兼ねたオリエンテーションでは、一人ひとりが自己紹介。「免許を取ってから公道を走ったことがない」「自宅の近所しか走らない」「バイクの取り回しが怖い」「免許は持っているが基本から学び直したい」など各々の状況や受講した理由、受講への抱負を語り合う。

この日のレッスンは、瀬尾友二郎インストラクターをはじめ4名で担当。

最終的に公道走行を実施することから、まずは敷地内コースで公道での様々なシチュエーションを事前にイメージしながら練習できる内容にしたと瀬尾インストラクターはいう。実技を始める前に、日常点検のポイントや正しい運転姿勢、車両の取り回し、転倒した際の車両の引き起こしについて受講者に確認してもらう。車両の取り回しとは、エンジンを止めた状態でのバイクの押し引き。この時にバランスを崩すと、バイクを転倒させてしまう。苦手意識を持っているライダーは少なくないことから、そうした不安を少しでも払拭してもらうため、バイクを前後に押し引きする練習を行う。実技の最初は発進・停止。スタートしてギアは1速のまま5m先のパイロンに合わせて停止する。次に25m先に置いてあるパイロンを目標に、2速に入れてからブレーキで減速し1速にギアを落として停止する。公道では少し走ってすぐに

## Contents

- P1 Close Up クローズアップ Honda の活動
- P3 Close Up クローズアップ 教育機器
- P4 Close Up クローズアップ 四輪販売会社
- P5 SJ Interview  
(一社)日本キッズバイク安全普及推進協会  
代表理事 井手川直樹さん  
副代表理事 有菌啓剛さん・蓼田尚典さん
- P6 Close Up クローズアップ 自転車
- P7 TRAFFIC SCOPE 交通参加者の行動を観察する
- P8 危険予測トレーニング(KYT)  
SJクイズ



Safety for Everyone

Honda はすべての人の  
交通安全を願い活動しています。

SJ ホームページは

ホンダ SJ

検索

編集部：本田技研工業株式会社 安全運転普及本部内  
〒107-8556 東京都港区南青山2-1-1  
TEL：03(5412)1736  
https://www.honda.co.jp/safetyinfo/  
編集人：横山謙一

※ご不明な点がございましたら下記までお問い合わせください。  
(株)アストクリエイティブ安全運転普及本部係  
TEL：03(5439)1191  
E-mail：sj-mail@spirit.honda.co.jp

停止する場面がよくあるため、そのような時にバランスを崩さないよう、慣れてもらうことや場面に合ったブレーキなど、車両の特性を知ってもらうことがねらいだ。  
 発進・停止が終わると、受講者は4つのグループ(各4~5名)に分かれ、公道を想定したコースをグループ単位で走る。コースには信号機のある交差点や一時停止標識のある交差点、障害物(駐車車両)が設けられている。「メーターなど目の前ばかりに気をとられていると、バランスが崩れやすくなるので注意しましょう。前を走る人のヘルメットを見るようにすると、目線が上がって、バランスがとりやすくなり、視界も広がります」と、インストラクターがアドバイスし、走行を重ねた。

**公道走行を終え、晴れやかな  
 笑顔を浮かべる受講者**

昼食をはさんで、午後は午前中の練習を繰り返し、各自が公道走行に向けた最終確認を行う。

そして、いよいよ公道走行がスタート。各グループの先頭と最後尾にインストラクターが付き、レインボー埼玉周辺の公道コースを15~20分間走る。受講者たちは敷地内コースで身につけたことを公道で実践した。公道走行から戻ってきた受講者は晴れやかな笑顔を浮かべ、一人ひとりが確かな手ごたえと自信をつかんだようだった。

1年ほど前に普通自動二輪免許を取得したという50代の女性は「これまで公道をちゃんと走った経験がありません。このレッスンにはカリキュラムに公道走行があったので申し込みました。バイクのスクールへの参加は初めてですが、インストラクターの方々がやさしく接してくただけでなく、自分と同じような悩みを持っている皆さんと受講できたので、リラックスして練習に取り組むことができました。公道をスムーズに運転することができ、自分でも驚いています。ブレーキの操作など動画サイトを見て勉強していますが、やはり体験して繰り返し練習することが一番だと実感しました。早速、自分のバイクで公道を走ってみたいと思っています。そして、目線はなるべく遠くへ、まわりをよく見る、止まるべきところではきちんと停止するなど、今日教えてもらったことを確実に実践します」とレッスンの感想を話す。

昨年、普通自動二輪免許を取得し、現在、大型二輪の教習を受けているという40代の男性は「免許を取った後、レンタルバイクで数回走った程度です。教習所とは違うところで、もう一度基礎から学びたいと思い、受講しました。これまでレンタルバイクに乗った後は、とても腕が痛くなっていたのですが、今日は全然痛みを感じません。最初の正しい運転姿勢の解説で、上半身の力を抜くことを聞き、それを意識して練習した効果だと感じています。私は右コーナーで、すぐ先のセンターラインを見ってしまうクセがありますが、目線を下げずに、前方のライダーのヘルメットなど、できるだけ先を見るようにというインストラクターの方のアドバイスで、それも克服できた気がします。運転の課題を解決できた一日になりました。安全に運転する気持ちを忘れないように、これからも、バイクを楽しんでいきたいと思っています」とレインボー埼玉を後にした。

レッスンを終えた瀬尾インストラクターは「前半の練習内容を後半の公道走行に活かすことができました。終わった後の皆さんの表情を拝見して、公道走行を実施して良かったと感じています。これからは不安を抱えるライダーが一人でも多く安心して公道への第一歩を踏み出せるようにサポートしていきたいと思います」と力強く語った。

今後、レッスンは7月と9月に4カ所の交通教育センターで開催される予定だ。

**HondaGO BIKE LESSON 開催予定**

	交通教育センター レインボー埼玉 (埼玉県川島町)	交通教育センター レインボー浜名湖 (静岡県浜松市)	鈴鹿サーキット 交通教育センター (三重県鈴鹿市)	交通教育センター レインボー熊本 (熊本県大津町)
7月	22日(土)	15日(土)	2日(日)	23日(日)
9月	17日(日)	16日(土)	16日(土)	10日(日)

詳細については以下のホームページを参照。  
<https://hondago-bikerental.jp/bike-lab/>

**HondaGO BIKE LESSON  
 カリキュラム内容**

9:30	閉講式
10:00	静的実技(準備体操、日常点検、運転姿勢、車両の取り回しなど)
11:00	実技(発進・停止、ブレーキング、パイロンスラロームなど)
12:30	昼食
13:30	実技(公道走行を見据えた練習)→公道走行
16:30	閉講式



車両の取り回しでは、自分の身体とバイクの車体との位置関係などをインストラクターが解説



転倒した際の車体の引き起こしの手順やコツを学んだ後、受講者が実践



ブレーキングは長短様々な距離で加減速(シフトチェンジ)してバランスを崩さずに停止する練習を行う



走行中は目線が下がらないように前方のライダーのヘルメットを見ることを意識してもらう



レッスン中に受講者同士でコミュニケーションを深めてもらえるよう、グループで話し合う機会が設けられている



ランチミーティング形式の昼食。インストラクターも加わり、受講者からの質問に対応した



見通しの悪い交差点では、前車が行っても焦らずに自分の目で安全を確かめて通過するようにアドバイス



公道走行に備え、駐車しているクルマの脇を通過する際の注意点を再確認してもらう



グループ単位で実施される公道走行。先頭と最後尾を走るインストラクターが無線を使って受講者に随時アドバイスをする



最後に受講者が給油も体験。その後、バイクを車庫に戻してレッスンは終了となる